

1

都市システムから見たJリーグ と地方クラブ・カタレ富山の事例-

富山大学人文学部人文学科
社会文化コース 人文地理学研究室
11110079 清野敬史

2

目次

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| I はじめに | III 都市システムから見た
富山地域・カタレ富山 |
| 1. 研究の背景 | 1. 概要 |
| 2. 研究の目的と方法 | 2. 富山地域・カタレ富山につ
いての考察 |
| 3. Jリーグ概要 | IV おわりに |
| II 都市システムから見たJリーグ | |
| 1. HGの平均入場者数 | |
| 2. 選手の出身地 | |
| 3. スポンサー企業の立地 | |

3

I はじめに

1. 研究の背景

高度経済成長期

大企業が全国にわたり支社・支店を置くようになる



森川(1994)によると、こうした企業の発展が都市間の結合関係を強め
都市システムを発展させた

* 都市システム=ある都市の経済活動、職業構造、所得、人口などの
変化が相互依存関係を通して他の都市に影響を与える国あるいは地域
の都市の集合

4

都市システム研究

経済的観点から

磯田(2003) 国内の人口移動から都市の階層性を調査

森川(1993) 大型小売店の立地展開から都市間の結合関係、階層性を調査

文化的観点から

阿部(1992) 来日アーティストの公演日程から都市を比較

階層関係は都市規模に大きく影響されていること

結合関係においては大都市とその周辺との関係があること

が明らかになることが多い

⇒プロスポーツ(文化的視点)においても

同様の都市間関係が見られるのではないかと

従来の人口規模に大きく依存する階層関係では地方クラブは下
位に位置すると考えられるが、その中でも中核市という規模の
都市を中心に活動するクラブ(カタレ)は階層のどこに位置す
るのか

5

2. 研究の目的と方法

研究目的

都市システムを通してJリーグを見て

都市間の階層関係及び結合関係を明らかにする

その上で、リーグ全体の中での富山県・カタレ富山の位
置づけを明らかにする

階層関係を考える指標

「HGの平均入場者数」

階層関係及び結合関係を考える指標

「選手の出身都道府県」

結合関係を考える指標

「スポンサー企業の立地」

6

3. Jリーグ概要

(1) リーグ概要

・ 1991年に創設され10クラブが加盟

・ 2014年度シーズンは36都道府県に本拠地を置く51クラブが加盟(1
部:18,2部:22,3部:11)→今回の研究対象は1部,2部の40クラブ(図1)

(2) ホームタウン活動概要

・ 「Jクラブはそれぞれのホームタウンにおいて、地域社会と一体と
なったクラブづくりを行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及
および振興に努めなければならない」 by Jリーグ規約

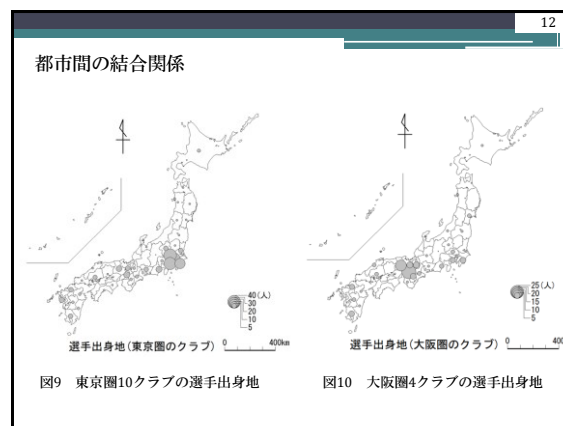
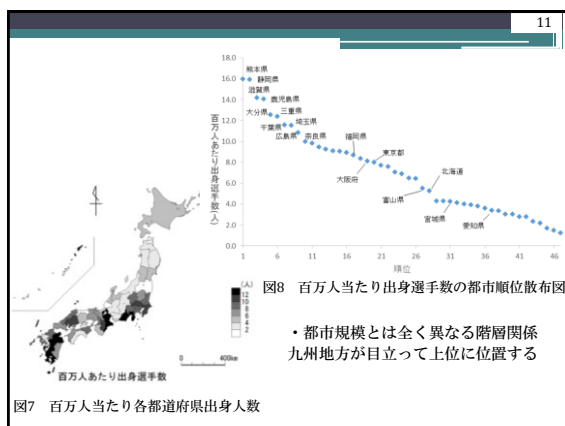
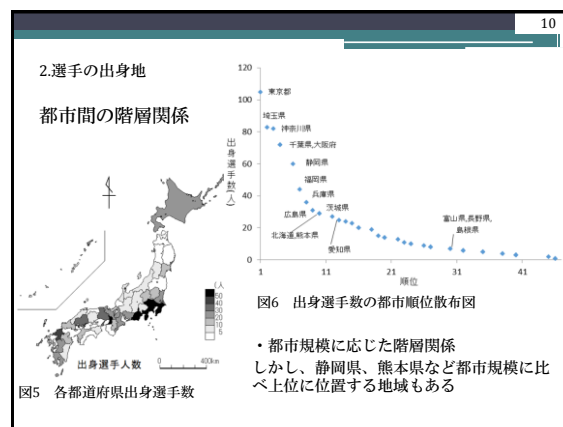
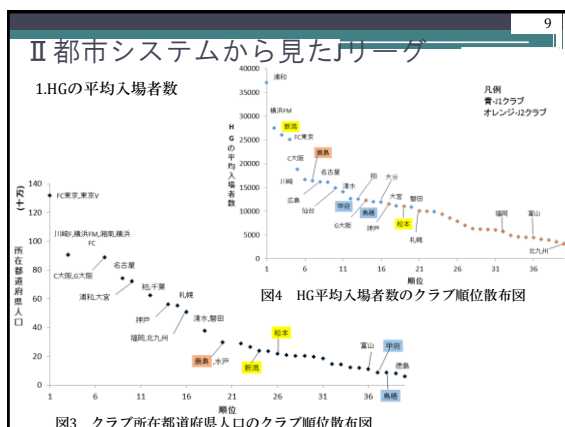
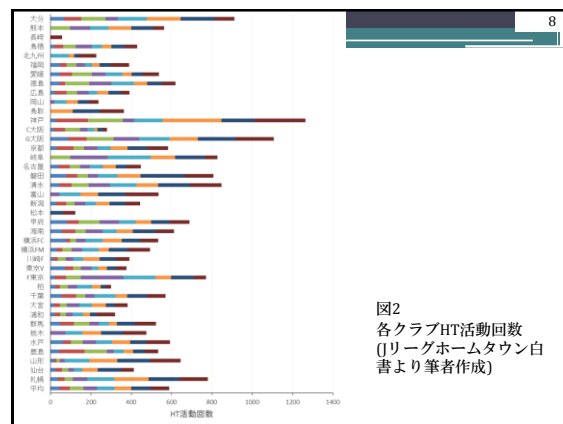
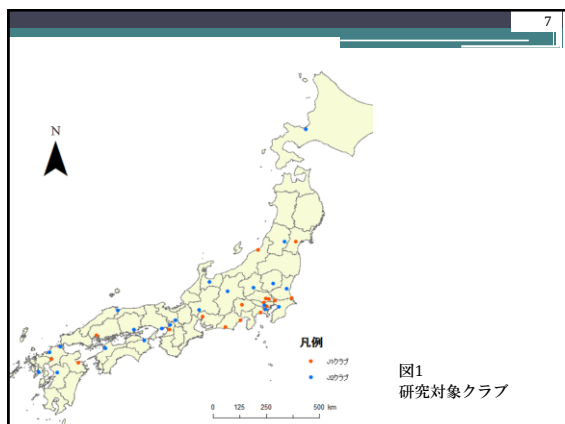
・ 対象は主に地域社会、子供、スポンサー・行政、ファン

・ 各クラブのHT活動回数(図2)

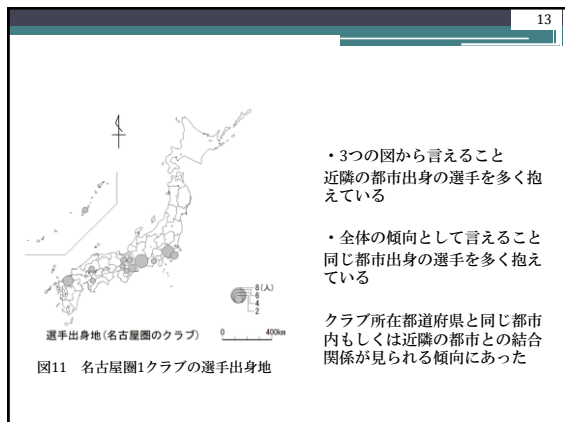


カタレ富山公式HPより引用





13



14

3. スポンサー企業の立地

クラブの営業収益の大半を占めるのが広告料収益

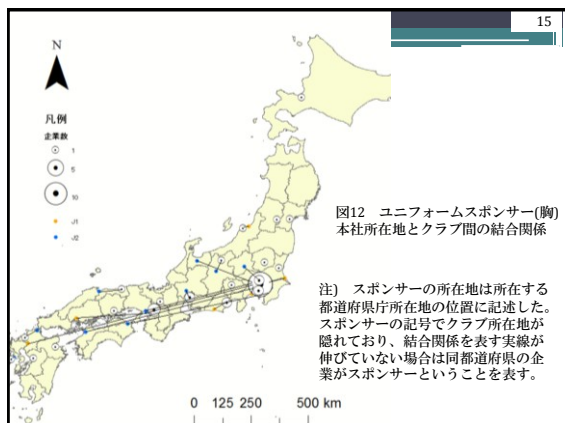


広告料の中で大きなものは
ユニフォーム(胸)
ユニフォーム(背中)のスポンサーである

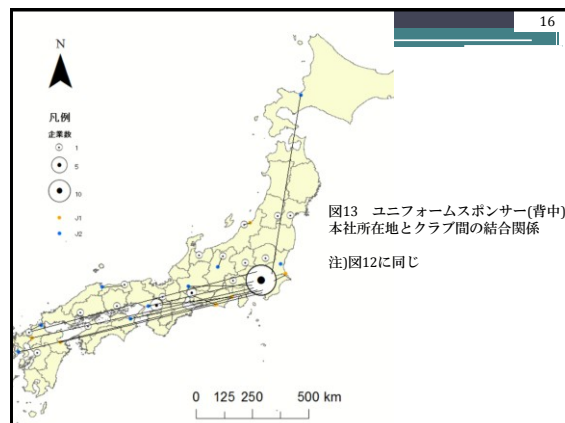


http://blog.taiyosp.co.jp/trip/000024_list.html より引用

15



16



17

スポンサー企業の立地から見える都市間の結合関係
として言えることは以下の三点である

- ・クラブ所在地と
- ①東京都
- ②同都道府県
- ③近隣の大都市
- との結合関係がある

- ・クラブ所在地域と関連のある東京
本社企業をスポンサーにしているク
ラブも存在する

- ・ユニフォーム(胸)スポンサーをク
ラブ所在都道府県の企業にしている
クラブの割合は、
ユニフォーム(背中)スポンサーをク
ラブ所在都道府県の企業にしている
クラブの割合より大きい
⇒地域密着を謳うリーグの方針に
沿った考え方がうかがえる

18

Ⅲ都市システムから見た 富山地域・カターレ富山

1.概要

(1)富山地域・カターレ富山概要

- ・ホームスタジアムが立地する
(図14)富山市は国から中核市の
指定を受けている
- ・ホームタウンは富山県全域
- ・2007年にYKKAPと北陸電力の
サッカー部が合併し誕生
- ・2009年から2014年までJ2に所
属



図14 カターレ富山のホームスタジアム位置

19

(2)カターレ富山のHT活動

・リーグに加盟した2009年には5市町村でしか活動を行っていなかったが、2013年には上市町を除く全市町村で活動を行った(図15,16)



図15 2009年度にカターレがHT活動を行った地域
(カターレ富山資料より筆者作成)

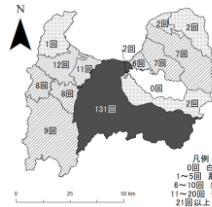


図16 2013年度にカターレがHT活動を行った地域
(カターレ富山資料より筆者作成)

20

2.富山地域・カターレ富山についての考察
・都市規模の階層で考えると図2からわかるとおり下位に属する

HGの平均入場者数

全クラブのうち下から5番目の集客

富山出身選手数・カターレ富山の選手出身地



図17 カターレ富山全選手出身地

全都道府県のなかでは30番目の順位
全クラブ所在都道府県(32都道府県)
の中では下から4番目
⇒カターレ富山の下部組織が2009年から開始したのでまた成果が出ていない可能性

都市間の結合関係としては
東京圏との結合の他に北海道との関係が強く見られた(図17)

21

Ⅳおわりに(まとめ)

都市間の結合関係

⇒ある都市と
東京、近隣の大都市との関係

- ・ムーブメント
- ・長期的に育成に取り組む
- ・辛抱強くPRを行う

都市間の階層関係

⇒都市規模に左右されない階層関係
Ex)HG平均入場者での新潟、鹿島
出身選手数での静岡県、熊本県



22

Ⅳおわりに(研究の限界)

Jリーグを通して都市の関係性を見てきたが、
・クラブに所属する選手は外国籍の選手もいるということを配慮していない



選手の出身地から都市の階層関係を見たが、
・選手の所属クラブは一時的なものであり、選手のプロとしてのキャリアをたどることより複雑なクラブ間(都市間)の階層性が見えてくるのではないか

本研究では以上の視点が不足しているため、その点を今後の課題としたい